生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	非アルコール性脂肪性肝疾患における HDL コレステロール引き抜き能異常と成因の解明		
1. 研究の目的と方法	アルコールやウイルスなどを原因としない脂肪肝の患者さんにおいて、善玉コレステロールといわれる HDL コレステロールの機能を評価することで、病状と HDL 機能との関連を明らかにすることを目的としています。「糖尿病合併症リスク因子における大血管症と小血管症との関連性（30-010（9031））」および「免疫学的測定法を用いた C-ペプチド、リポ蛋白(a)測定の国際標準化・ハーモナイゼーションに関する研究（36-127（12232））」に参加された患者さんの、HDL コレステロールの機能に関するデータと電子カルテ情報、後者の研究については余った血液を使用させていただきます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2016 年 4 月 1 日～2024 年 4 月 30 日までの間に「糖尿病合併症リスク因子における大血管症と小血管症との関連性（30-010（9031））」に参加された患者さん、および 2025 年 6 月 11 日までに「免疫学的測定法を用いた C-ペプチド、リポ蛋白(a)測定の国際標準化・ハーモナイゼーションに関する研究（36-127（12232））」に参加された患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	36-127 研究に参加された方ついては、余った血液を利用します。	
	(2)試料の取得の方法	36-127 研究に参加された方ついては、通常検査の採血時の余った血液のうち、36-127 研究で利用した後の余りの血液を利用します。	
	(3)情報の種類	患者基本情報、疾患情報、生活歴、血液検査結果、身体所見	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。また、それぞれの先行研究で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　臨床検査医学講座
		氏名	吉田博
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　臨床検査医学講座　政木隆博	
	(4)共同で研究を実施する施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	責任者	
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	試料・情報の利用開始予定日：2024 年 9 月頃～ この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　臨床検査医学講座 研究責任者：教授　吉田　博（よしだ　ひろし） 電話番号：04-7164-1111（内線 2100） 対応時間：午前９時～午後４時／休診日を除く	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。